

褐毛和種種雄牛「菊光丸」の特性

農業研究センター 畜産研究所 生産基礎技術研究室
担当者：網田 昌信

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力間接検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

- 1 産肉能力がバランス良く優れた褐毛和種種雄牛「菊光丸」を選抜した。

血統

父 第三光丸 (高71)

母 なみふく (産肉596)

祖父 光武 (高58)

祖母 ふくまる (高等933)

祖父 光重ET (育高1)

祖母 第十三さかえ (特級20353)

登録番号：繁殖101

生年月日：平成11年9月23日 (5歳)

生産地：阿蘇郡蘇陽町

- 2 枝肉重量は478.4kgと本県で実施した褐毛和種の中では歴代2位で、脂肪交雑の指標であるBMSは2.6、ロース芯面積52.3cm²、ばらの厚さ7.3cmとバランスのよい産肉性を示した。
- 3 検定期間の1日当たり増体量は1.06kgで、検定終了時体重は生後21.8カ月齢で74.7kgであった。

普及上の留意点

- 1 本種雄牛は、父が「第三光丸」、母方祖父牛が「光重ET」であり「光武」の寄与率が高い種雄牛である。
- 2 交配に当たっては、基幹種雄牛である半兄弟の「泉丸ET」と「第三光波」の娘牛等への近親交配を避けること。

[具体的データ]



写真 1 褐毛和種雄牛「菊光丸」

表 1 産肉能力直接検定成績

単位：kg,%

1日当たり増体量	365日齢補正体重	1kg増体当たりのTDN量	粗飼料摂取率
1.47 (1.43)	465.9 (464.0)	5.63 (4.82)	23.0

*表中下段()内の数値は現有基幹種雄牛10頭の平均値

表 2 産肉能力間接検定成績 [発育成績および飼料摂取量]

単位：力月齢,cm,kg

月 齢		体 高		体 重		1日当たり増体量	1kg増体当たり	
開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時		TDN	DCP
11.0	21.8	122	142	399	747	1.06 (1.05)	7.02 (6.45)	0.86 (0.81)

*表中下段()内の数値は現有基幹種雄牛10頭の平均値

表 3 産肉能力間接検定成績 [枝肉成績]

単位：kg,cm²,cm

枝肉重量	BMS	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪の厚さ	歩留基準値
478 (422)	2.6 (2.5)	52 (48)	7.3 (6.9)	3.2 (2.5)	72.4

*表中下段()内の数値は現有基幹種雄牛10頭の平均値

現有基幹種雄牛名号：光玉波、第四光重、第十四光重、第十六光重、第十八光重、第三光波、第十二波丸、光重球磨、波中島、重光玉